

「白梅友の会」 活動の拠点は公民館

白梅友の会は平成元年、自治会活動の拠点となる大峯公民館の開館と同時に誕生しました。現在は60歳以上の地域住民76人で活動しています。

主な活動は、有価物回収や美化の日の活動、高齢者世帯を定期的に訪問し安否を確認するシルバーヘルパーによる友愛訪問、子どもたちの安全を見守る「子ども見守り隊」による防犯パトロールなど、自治会内の環境整備や安心安全事業に取り組んでいます。

また、毎年8月に行われる自治会夏祭りでも、実行委員会の中心的な存在として積極的に活動しています。

このような地域に密着した活動は、新興住宅地にありがちな地域への無関心を予防し、子どもから高齢者までのコミュニケーションづくりにかすことのできない活動になっています。

高齢者見守り隊

民生委員、高齢者相談員、シルバーヘルパーが協力し合って、地域のひとり暮らしの高齢者を中心に巡回し、高齢者の話し相手や個別の相談に応じます。



子ども見守り隊

地域の小学生が下校する時間帯にあわせて、子ども見守り隊が通学路を巡回します。子どもたちの事故を未然に防ぐために取り組んでいます。



地域に必要とされる
「安心安全」を
自分たちのチカラで
見守っています

ともに支えあい、喜びを共感



なかむら あきら
中村 章 老人会長

白梅友の会は「ともに支えあい、喜びあいを共感できる」を合言葉に、地域密着型の活動に全員で取り組んでいます。

私たちが見守り活動をすることで、地域のみなさんに安心安全を感じてもらえると思っています。気楽に活動できますので、みなさんの参加をお待ちしています。

地域活動への積極的な参加に感謝



まんき ひでお
万喜 英雄 区長

白梅友の会の活動は多面的で、自治会行事にも率先して参加するなど、自治会として大変感謝しています。自治会と老人会は異体同心で支えあうことだと考えています。高齢化が進む状況のなか、老人会への参加者はこれからも増えていくと思います。今後も充実した活動に期待しています。